

焼酎のブックリスト

初心者向け芋焼酎入門

※資料は貸出中の場合があります。

『酒』吉田元著 法政大学出版局 2015年8月刊

酒の誕生から、神社でつくるようになった古代、世界でも珍しい製法が確立しブランド化する近世までの長い歩みをたどる。古事記や和歌、外国人による紀行文まで、様々な文献から見える人々と酒との関わりについて知ることができる1冊。

『日本の名酒事典—清酒 焼酎 ワイン 梅酒—完全版』講談社編 2010年11月刊

焼酎だけでなく、清酒からワイン、梅酒まで、日本の名酒を都道府県別に網羅した事典。2010年の時点で飲める日本の酒5195本を収録し、全てにボトル、ラベルの写真、価格表示を付した。知って得するお酒に関する話も満載。

『居酒屋の誕生—江戸の呑みだおれ文化—』飯野亮一著 筑摩書房 2014年8月刊

居酒屋はいつ誕生したのか。時代は江戸までさかのぼる。幕府が開かれ、江戸には多くの人が集まった。酒屋でお酒を飲ませることはあっても本業ではなかった。当時の様子を描いた挿絵や川柳を多用し、江戸時代の居酒屋文化について解説する。

『黒霧島物語—宮崎の弱小蔵元が焼酎王者になるまで—』

馬場燃著 日経BP社 2015年6月刊

500年の伝統産業である焼酎業界において、1998年発売の芋焼酎「黒霧島」を武器に、全国トップの酒蔵になった霧島酒造。マイナーな中小蔵元のひとつであった彼らが、焼酎王者になるまでの全軌跡をたどる。ノンフィクション読み物。

その他にも図書館ではたくさんの資料があります。

どうぞご利用ください！

